



助けあいジャパン

3月11日からひと月以上がすぎ、被災した地域にも桜の季節がやってきました。今も大きな余震が続き、136,000人以上の方が不自由な避難生活を送っています。震災のもたらしたものが日に日にくっきりと見えてきて、その大きさに呆然とすることも度々です。

一方、助けあいジャパンの活動を続けている私たちは、個人や企業、団体、省庁、様々な人がそれぞれの場所で真剣に考え、助けあおうとしている様子を感じています。発信されている情報の量がすごい。様々なスキルやテクノロジー、体験や知見を生かしてどんどん出てくるアイデアやサービスがすごい。ほんとうにたくさんの方の意思と行動が、毎日まいにち見えるのです。

それらのアイデアやサービスには、私たちのものも含めて、すぐには役に立たないものもあるかもしれません。うまくいくものと、そんなにうまくいかないものがあるでしょう。でも、試行錯誤を恐れず、この状況に関わってゆこうとする一人ひとりの行為が、日本の復興をもたらし、世界を変えてゆくのだと信じます。

私たちのプロジェクトには、これまでに200人以上が参加しています。毎日何時間も顔を合わせている者もいるし、Facebookのプロフィール写真でしか会ったことがないメンバーもいます。インターネットとソーシャルメディアがあるからこそできる、しなやかにつながり、いっしょに考えながら進んでゆく活動を続けていきたいと思っています。

Tasukeai japan.jp は、今週から来週にかけて、新しいコンテンツを加えてリニューアルします。現地からの声をもっと聞こえるようになります。助けたい気持ちを持った人が一歩を踏み出す「きっかけ」や「入り口」をたくさんつくりたいと思っています。

もうすぐゴールデンウィーク。休日を生かしてボランティア活動に参加する人、何かしよう、と思っている人も多くいると思います。その気持ちが、被災した方々にほんとうに役に立つかたちで生かされるように、このサイトを活用していただければ幸いです。